

みやぎNPO夢ファンド (B) ステップアップ支援プログラム
平成 19 年度助成事業 最終報告書

2008年4月17日

団体名	特定非営利活動法人移動サービスネットワークみやぎ
事業名	移動サービス支援センター運営&運行管理システムの開発 (フェーズ3)
連絡担当者お名前 (ふりがな)	菅原 ふじ子
<p>助成金を使って行った事業について、具体的にご記入ください。 (事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)</p> <p>1. 支援センターの運営</p> <p>(1) 県内・全国の関連情報の収集・提供 ⇒ホームページ、メーリングリスト等で随時発信 http://www12.plala.or.jp/idonet-m/</p> <p>(2) 道路運送法改正に伴う登録申請に関する相談・協力・指導 ⇒「福祉有償運送更新に関する勉強会」の開催 日時：平成19年10月30日(火)午後1時30分～ 場所：宮城県庁舎2階第2入札室 参加者数：58名(宮城県・関係市町村・NPO等関係団体等の担当者) 内容： 1) 更新申請手続きについて(国土交通省東北運輸局宮城運輸支局) 2) 福祉有償運送制度における市町村の役割(宮城県) 3) 情報提供(移動サービスネットワークみやぎ) 4) 質疑応答(宮城県) ※上記勉強会を当ネットワークが県と運輸支局に働きかけ実現した。</p> <p>(3) 認定講習会の実施 ⇒平成19年5月～平成20年3月実施(別紙1) 延べ実施回数：28回 延べ受講者数：693名</p> <p>(4) 県内市町村、社協、企業との協力・協業 ⇒未実施(次年度へ持ち越し)</p> <p>(5) 全国関連団体と協力して政策提言 ⇒全国移動サービスネットワーク主催の全国移動サービス実施団体の 実態調査(11月)及び分析結果(12月中予定)を国土交通省へ 提出・提言の実施(年度内)に協力 ・宮城県も連動し実態調査 回答数22団体(対象団体32団体) ※宮城県分を分析し、運輸支局、県へ提出。(別紙2)</p>	

助成金を使って行った事業について、具体的にご記入ください。(続き)

(6) 宮城県の福祉交通環境整備のための検討会の実施

⇒3/19日宮城県との意見交換会の実施

日時 平成20年3月19日(水) 13:00~15:00

場所 宮城県庁18階会議室

参加者 NPO等実施団体10団体17名

宮城県長寿社会政策課長他2名

宮城県障害企画課担当 3名

内容 福祉有償運送の実態調査結果報告に基づいた課題・要望等
福祉交通環境整備の前段階としての実態把握

(7) 移動サービス普及支援

⇒県外(山形県)のNPOからの移動サービス立ち上げ相談及び情報提供(6月)

2. 運行管理システムの開発(フェーズ3)

(1) 報告様式等法改正に合わせたシステムの再構築

(2) コーディネート機能(利用予約、運転者予定、経路情報など)

(3) 会計管理台帳(利用料、謝金、現金出納など)

(4) クレーム管理台帳

(5) その他 IT支援

⇒完了

(1)~(4)は【添付資料】運行管理システムマニュアル(提出済)

(5)個別団体支援(3団体)

3. NPO法人化

平成19年5月16日法人設立

【添付資料】履歴事項全部証明書および定款 写し (提出済)

成果目標はどの程度達成できましたか。当初目標と比較して記入してください

●申請書に記載した成果目標

1. 支援センターの運営

(1) ホームページの内容充実、アクセス件数増加 (目標値 20,000)

(2) 相談件数及び出張支援件数の増加

(3) 認定講習会の実施

・定例開催 (1回/月) + 随時開催
⇒ 年10回以上

(4) 県内市町村、社協、企業との協力実績向上

(5) 全国関連団体と協力して政策提言

(6) 宮城県の福祉交通環境整備のための検討会の実施

2. 運行管理システムの開発 (Ver. 2.0)

(1) 報告様式等法改正に合わせたシステムの追加修正

(2) システム評価 (利用団体による)

(3) 県内及び全国へ販売 (目標 50万)

(4) IT支援強化・メンテナンス対応

3. NPO法人取得

●目標の達成度・団体に与えた効果

→アクセス数：現在 60%達成 (12月) その後アクセシビリティ化に伴いカウンター無し

内容充実：会員外からの講習受講申込み等やウェブアクセシビリティ化による、一層の見やすいHPとなったことで目標達成。

→講習、移動サービス立ち上げ相談など、目標達成

→更新登録の要件を満たすなど目標達成
会員外 (県外など) からの受講申込多数

→未達成⇒次年度事業へ持ち越し

→実態調査による分析・報告書作成、全国レベルでの国等への政策提言、目標達成

→宮城県との意見交換会で一部達成、検討会実施までには至らず。

→システム開発は目標達成したが、メンテナンス対応の人材不足で販売までには至らなかった。

→達成済み、社会的信用度の増加

●事業を通じて、新たに見えてきた課題はありますか。

もしあれば、その解決に向けて必要なことをお書きください。

課題：

福祉有償運送 (移動サービス) が制度化 (H18年10月施行) されたことによって、利用対象者、運転者、車両などの登録要件が厳しくなり登録を取り下げたり、縮小 (利用者を増やさない等) する団体も見受けられた。ボランティア活動を萎縮させる制度の見直しを働きかける必要がある。

解決に向けて必要なこと：

1. 移動サービスを提供している団体の実態調査を基に、規制緩和を求め国など関係機関へ働きかける。(全国レベル)
2. 各地方自治体で開催されている「運営協議会」のあり方について、単なる利害調整、チェックのみの会議ではなく、その地域の移動問題について話し合う場となるよう事務局 (各自治体) に働きかける。

収入の部

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	1,000,000	1,000,000	
自己資金	1,740,000	2,591,437	運転講習受講料等
合計	2,740,000	3,591,437	

支出の部

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
支援センター事務局人件費	700,000	904,500	
支援センター事務局交通費	300,000	359,960	
運転講習講師謝礼	700,000	1,392,589	源泉徴収税含む
運転講習講師交通費	300,000	145,110	
運転講習材料仕入れ (テキスト購入)	200,000	226,000	
運転講習諸費	100,000	182,600	保険料、車両使用、会場費
運行管理システム構築謝礼	300,000	200,000	源泉徴収税含む
移動サービス関連研修会等参加交通費	50,000	74,090	
支援センター郵送料	20,000	26,600	
支援センター交通費	20,000	2,180	県内移動費用
支援センター事務費等諸費	50,000	77,808	印刷費、消耗品
合計	2,740,000	3,591,437	

※上記支出金額は任意団体決算（平成 19 年 4 月～5 月）分の費用と合算されている。

詳細別紙

3年間の事業を振り返って（ご自由にお書きください）

1. 法（道路運送法：例外許可から制度化へ）とともに
 - 平成16年3月、道路運送法第80条の例外許可に係る国の通達（ガイドライン）による、NPO等移動サービス実施団体の許可取得支援
 - ・許可要件を満たすための情報提供や通達の勉強会
 - ・関係機関等へ移動サービスの理解向上のためのセミナー等を開催
 - ・許可を得るための各自治体主宰の「運営協議会」開催への働きかけ
 - ・NPO等実施団体、行政、タクシー事業者との意見交換会実施
 - ・宮城県知事へ政策提言
 - ・運転者要件を満たすための「安全運転研修会」を実施
 - ・各自治体主宰「運営協議会」傍聴及び意見陳述
 - 平成18年10月、改正道路運送法施行によって例外許可から79条登録へ（法制度化）
 - ・諸要件の更なる規制
 - ・国土交通大臣が認める「認定団体」が実施する講習の受講→移動ネットみやぎが認定団体となり講習を実施
 - ・全国レベルでの規制緩和への働きかけ
2. 情報発信（ホームページ・メーリングリスト）
 - ・国の動き、移動ネットみやぎの動き、運営協議会開催および日程・結果についてタイムリーな情報発信（80条許可関連）
 - ・道路運送法関連の情報発信（80条許可、79条登録）
 - ・安全運転研修会（80条許可要件）、認定講習（79条登録要件）開催の案内
 - ・セミナー等開催及び実施状況
 - ・ウェブアクセシビリティ化によるホームページの充実
3. 運行管理システムの開発
 - ・利用者、車両、運転者、運行、料金等の一元管理システムの開発及び販売
 - ・四半期報告等運営協議会・運輸支局への報告資料
 - ・改正法に伴う報告様式に合わせた機能の追加修正
 - ・管理システムの勉強会及びメンテナンス
4. 全国ネットおよび行政等との連携・協働
 - ・移動サービス関連のシンポジウム等開催
 - ・他県（福島県）へのネットワーク立ち上げ支援
 - ・実態調査、報告書作成、意見交換会
5. 任意団体からNPO法人取得（平成19年5月16日）

以上のような活動を通じ、改めてネットワークの必要性・重要性を実感しました。

3年間の事業を振り返って（続き）

寄附をいただいた方へのメッセージをどうぞ

この3年間の夢ファンド事業は、当ネットワークの事業そのものでした。
任意団体からNPO法人として活動の基盤が出来、継続できたのは夢ファンドの支援があつてこそと、改めて感謝申し上げます。3年間本当にありがとうございました。
移動サービス実施団体が、合法的に活動できるよう情報提供や講習等を通し支援してきた3年間でしたが、今後は当法人の目的である、「だれでも、いつでも、どこへでも」移動できる社会の実現に向けて、移動サービスの向上と普及を図るために努力して参ります。
今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

みやぎNPO夢ファンド3年目の収支報告
支出の部(NPO法人分+任意団体分)

NPO法人移動サービスネットワークみやぎ

項目	予算	決算	NPO法人分 (H19.6~H20.3)	任意団体分 (H19.4~H19.5)
支援センター事務局人件費	700,000	904,500	777,800	126,700
支援センター事務局交通費	300,000	359,960	320,080	39,880
運転講習講師謝礼	700,000	1,392,589	1,325,989	66,600
運転講習講師交通費	300,000	145,110	127,910	17,200
運転講習材料仕入れ(テキスト代)	200,000	226,000	216,000	10,000
運転講習諸費	100,000	182,600	160,540	22,060
運行管理システム構築謝礼	300,000	200,000	200,000	0
移動サービス関連研修会等 参加交通費(出張旅費含む)	50,000	74,090	68,090	6,000
支援センター郵送料	20,000	26,600	25,650	950
支援センター交通費	20,000	2,180	2,180	0
支援センター事務費等諸費	50,000	77,808	75,221	2,587
合計	2,740,000	3,591,437	3,299,460	291,977